



わくわくひろば もあ通信

2026年10月1日発行



子育てお役立て情報 親子で楽しもう！絵本の読み聞かせ

👉ながと子育てナビは
こちらから

読み聞かせは子どもにとって「心の栄養」 焦らず気負わず楽しんで！

子どもの脳は、発話できるはるか前から、言葉の理解が進んでいます。
語りかけや読み聞かせなど、あらゆる方法で、子どもに言葉を豊富に与えることが大切です。

0歳・1歳

絵本の内容を理解するというよりも
親子のコミュニケーションを楽しむ時期！
親子、1対1の読み聞かせがとても大切です。

【アイコンタクトが大事】

赤ちゃんは顔が大好き！ 絵本に出ている目が
赤ちゃんをしっかり見るアイコンタクトが大事！

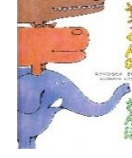
「かおかお どうなかお」 「いないいないばあ」



2歳・3歳

繰り返しを生かした単純なストーリーを少しずつ理解
するようになってくるので、絵本の物語の世界に入っ
て楽しむこともできるようになります。
単純なストーリーや、身近な物語がおすすめ！

「でんしゃにのって」



「はけたよはけたよ」



「ぞうくんのさんぽ」

4歳～

少しずつ長いストーリーを追えるようになります。
物語の中でハラハラドキドキを体験し、考える力、
人の話をじっと聞く力も育っていきます。

読み聞かせQ&A

Q、同じ本を繰り返し「読んで」とせがみます、どうして？

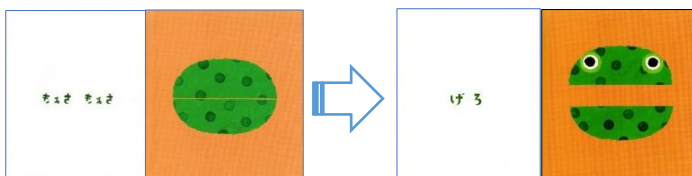
A、とても良いこと。それだけ、何回も見たい好きな絵本
に出会ったということです。好きな絵、好きな場面は
何回も見たいもの。しかも、大好きな絵本を、大好き
な大人が、何回も読んでくれるその声を、子どもは何
回でも聞きたいと思っています。

Q、読み聞かせのコツは？

A、慣れていないときは、簡単な本から始めましょう。
乗り物、食べ物、虫、動物など、子どもの好きなものを
選ぶと興味を持ちます。また、2場面完結の本、つまり
2場面で完結して、それを繰り返す本も良いでしょう。



例えば 「ちよきちよき」
めくるたびに何かが起こり、
そして完結します。



いない
いないばあ
～No.111～
どんぐり文庫わらべうたあそびの会

「このしほだあれ？」
さく・え いのわこうじ 講談社

次々出てくるしほが何の動物か
あてていく 楽しい絵本です。
まず、「うずまきぐるぐる
このしほだあれ？」とねずみくん
はまじりした 明るい色づかいの絵と
重み物の特徴をとらえてわかりやすい
ことばで 子どもはイメージが
ふくらみます。

ページをめくると答えが明かされます。
「きのこのおしほは りすでして。」 「かっ、かっ」と。
まだ答えられない年齢のお子さまでも、
テンポよい オトのひびきも 喜ぶでしょう。
本の大きさも 手頃な 正方形サイズで
お出かけに持っていくにも 最適です。 (担当㊿)

